

(S28-27 用)

研究課題名	偶発性低体温症を呈する救急患者に関する多施設後顧的観察研究
研究期間	西暦 2016 年 10 月 11 日 ～ 西暦 2019 年 3 月 31 日
研究の目的と意義	偶発性低体温症とは意図せず体温が 35℃以下に低下した状態です。偶発性低体温症とは典型的には寒冷地域の冬に起こりますが、温暖な気候の地域の夏にも起こり得ます。死亡率は約 30%と非常に予後が悪い状態で、特に高齢者は偶発性低体温を来たしやすく、高齢化が進む日本では重要な問題のひとつです。偶発性低体温症の原因やその治療は多様ですが、その有効性や予後に関しては不明な点が多く、この研究を通して、発生、治療、転帰に関わる因子を多面的に分析し、その発生・予防・予後改善に寄与することを目的とします。
研究方法	平成 23 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日までの間に、京都第二赤十字病院救急外来で診療を受けられた患者さんが対象となります。 ・方法について 対象となる期間に偶発性低体温性を罹患した患者さんのカルテを調べ、その診察内容を調査させていただきます。 主な調査項目：年齢、性別、身長、体重、来院方法、受診日時、発生日時、発生場所、生活様式、ADL、既往歴、内服歴、来院時Vital sign、来院時身体所見、来院時血液検査所見、CT・MRI所見、心電図所見、復温方法、治療薬剤、合併症、転帰等
個人情報の保護、研究参加の拒否について	利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。 また、本研究への参加拒否を希望される患者さんについては、担当医師にお申し出ください。
結果の公表	この研究の結果は、研究に関連する学会や学術雑誌等で発表されることがありますが、その際も対象となった個々の症例の報告はなされず、集計されたデータをもとに得られた結果のみを公開し、個人情報は守られます。
問合せ先	京都第二赤十字病院 救急科 部長・飯塚 亮二 〒602-8026 京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町 355-5 TEL：075-231-5171（代） FAX：075-256-3451（代）